

《1年1組》

①きょうりゅうゆうえんち

作者:やましたこうへい

②おこりたくなったらやってみて

作者:オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ

訳:垣内磯子

・きょうりゅう

招待状のくだりはワクワクした顔をしてくれ、男の子は名前を言ってくれたりしました。

最後にお友達ができたのが良かったみたいです。

・おこりたくなったら

息を吐く練習のところはみんないっしょにやってくれて楽しくきいてくれました。

《1年2組》

①くれよんのくろくん

作者:なかや みわ



②もう めげない

作者：ヨシタケ シンスケ

2冊とも知っている子が多く、本の表紙を見せると、それ知ってる！と興味を示してくれました。本読み中も、次はどうなるかな？と問いかけると、次は水色！花火になるんだよ！など返してくれ、楽しんでくれている様子を感じられて、私自身も楽しい時間を過ごせました。人の話を集中して聞くという点でも、授業前の朝読書はとても良い取り組みだと感じました。

《1年3組》

①バムとケロのさむいあさ

作者：島田ゆか

②しろちゃんとはりちゃん

作者：たしろちさと



バムとケロは読んだことがある子も多かったようです。みんな静かに真剣に聞いてくれて、時々笑ったりツッコんだりもしてくれて、楽しく読み聞かせができました。特に我が子は、いつも家で読んでるお気に入りの本をみんなに紹介できて喜んでいました。

《1年4組》

『きょうはなんのひ？』

作者：瀬田貞二

教室の前で待機していると「誰のお母さん？」「読み聞かせ？」と何人ものお子さんが聞いてきてくれて、この時間を楽しみにしてくれているのが伝わってきました。

同年代の女の子が隠した手紙を、お母さんが謎を解きながら見つけていくお話なのですが、子どもたちは時折り「あったー！」と声を出し、絵にも注目して聞いてくれているようでした。

最後には女の子が考えたオチに「すごいね」と共感の
声も聞こえ、ストーリーをよく追ってくれていたのが
わかりました。

また、どの本を題材にするか子どもと考えた時間も貴重
でした。

「きっとこれは好きだと思う！」「これは少し絵が怖
いかもね」と、クラスの子を思い浮かべながら、自分
のお気に入りの中から、紹介したい本を選ぶ我が子を見
られて、読み聞かせボランティアに参加して良かったな
感じました。